

みやぎの農業用水の渇水

旱天が続く降雨がないと、河川やダムそしてため池などの水が枯れてしまい、農業用水が不足する「渇水」が発生する。宮城県でも過去に度々異常渇水が発生し、農作物被害や渇水対策被害が生じている。

－夏の異常渇水－

◆昭和60年(1985年)夏の渇水

①渇水の概況

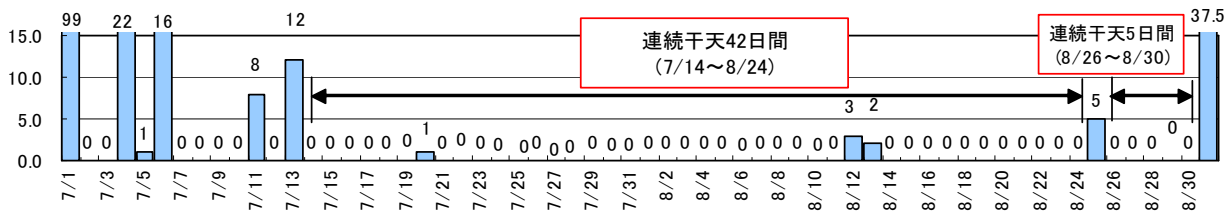
- ・県内各地で7月半ば～8月末にかけて旱天が続く、農業用水の渇水となった。特に、江合川水系と鳴瀬川水系では旱天のため、鳴子ダムも貯水ゼロとなるなど、水田3,000haで用水不足となり大きな影響を受けた。

②新聞報道

- ・「**照焼き農作物ピンチ県が渇水対策連絡会を設置** 江合・鳴瀬川水系で約70haの用水不足 (8/13 読売新聞)
- ・「**水田3,000haに影響** 江合・鳴瀬川水系の一部で用水不足 古川管内で影響面積3,000ha (8/20 河北新報)
- ・「**広がる渇水被害お手上げ農作業 秋冬野菜直撃** 色麻中新田両町の263haで用水不足 (8/24 河北新報)

【降水量(古川)】

(単位mm/日)



◆平成6年(1994年)夏の渇水

①渇水の概況

- ・県全域で旱天のため深刻な用水不足を招いた。このため、各地で利水調整や番水制及び仮設応急ポンプ設置などが行われた。(8/18現在 障害施設:239ヶ所、用水障害:55,211ha、用水不足:26,551ha、地割れ:881ha)



(貯水ゼロとなった栗駒ダム)



(応急ポンプ設置状況<桃生町>)



(干上がった鳴瀬川<上川原堰>)

②新聞報道

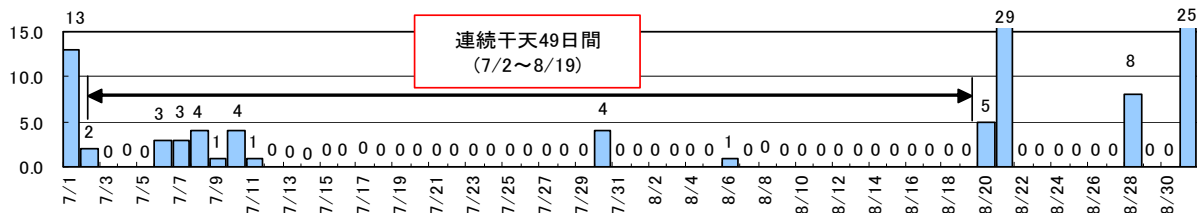
- ・東北にも渇水危機「東北地建5年ぶり対策本部」「渇水対策本部 宮城県が設置」 (7/29 河北新報)
- ・渇水へ刻々深刻 水田では「夜水引き」も登場 水の取り合いも始まって 節水呼び掛け (8/2 毎日新聞)
- ・大崎地方で農業用水不足、深刻化の様相「地割れやため池干上がる」 (8/10 仙北新聞)
- ・「渇水」大崎地方にもジワジワ「雨あめ振れ振れ」策も本格化 (8/13 大崎タイムズ)
- ・「栗駒ダム貯水率ゼロ」ため池併用、水田かんがい 水不足が深刻化する中 (8/16 河北新報)
- ・水飢きん ここまで来たか「迫川をせきとめ農業用水“独占”」宮城・若柳 下流農家憤慨 (8/17 河北新報)
- ・猛暑で実りの秋は小ぶりか 農業用水も深刻に コメ豊作でも味落ちる 地割れに不安 (8/18 毎日新聞)
- ・県の渇水対策会議(県渇水対策連絡会議会長:副知事)39日ぶり解散 八月下旬の降雨で (9/6 河北新報)

③干害対策事業等の実施

- ・干害応急対策事業8,453ha、117百万円(1/3国補助) 農業用水確保応急対策事業7,242ha、10百万円(40%県補助)

【降水量(鹿島台)】

(単位mm/日)



◆平成9年(1997年)夏の渇水

①渇水の概況

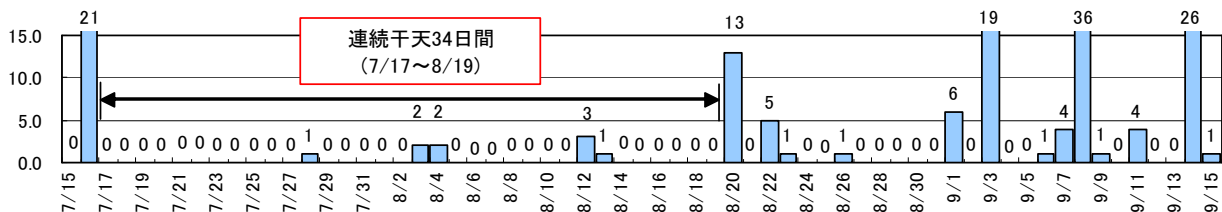
- ・恒常的な渇水地帯である江合川水系と鳴瀬川水系では、7月半ばから8月半ばまで続いた旱天のため、河川流量が低下し、渇水となった。このため、利水調整による取水制限や番水などが実施された。

②新聞報道

- ・小雨傾向今年も継続仙台管区气象台 河川流量状況江合川は例年の2割東北地方建設局 (5/21 河北新報)

【降水量(古川)】

(単位mm/日)



注1. 夏の異常渇水としては、このほか

昭和48年(1973年) 石巻 連続旱天53日間 (7/12~9/2)
 昭和50年(1975年) 石巻 連続旱天32日間 (8/7~9/7)
 昭和53年(1978年) 石巻 連続旱天46日間 (6/29~8/13)
 平成27年(2015年) 仙台 連続旱天25日間 (7/17~8/10) などがある。

- 春の異常渇水 -

◆ 昭和62年(1987年) 春の渇水

① 渇水の概況

・ 4月降水量は県下全般に平年より著しく少なく、仙台では4月の月間雨量が合計8mmと、4月としては観測史上第1位の少雨を記録した。5月中旬まで渇水で、吉田川流域の外各地で田植え作業が大幅に遅れた。

② 新聞報道

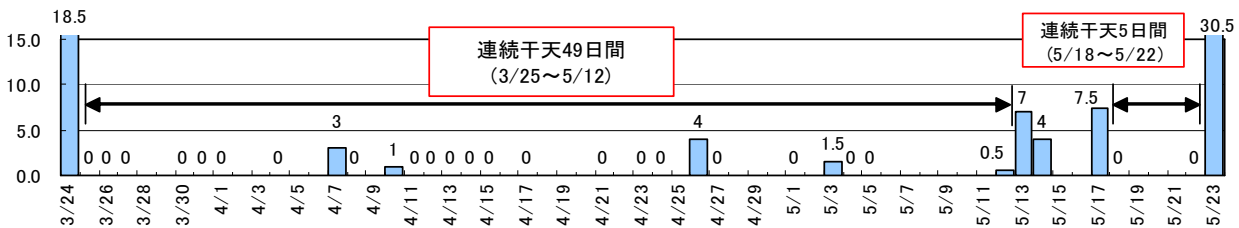
- ・ 「水不足 田植えに遅れ 先月のカラカラ天気響く」 水量不足で代かき作業遅れる 特に事態が深刻なのは吉田川流域の鹿島台、松島、大郷町 (5/2 河北新報)
- ・ 「カラカラ東北 田植えピンチ 降雨仙台は平年の1割」 吉田川流域の大郷、鹿島台、松島、鳴瀬の4町や農協土地改良組合関係者は6日、宮城県に対し試験湛水中の南川ダムから緊急放流を陳情し同県は同日午後から毎秒3トンの放流を開始した (5/7 河北新報)
- ・ 「あの吉田川も干上がる 一転、水不足に泣く一宮城・鹿島台」 鹿島台町は吉田川鶴田川で、すっかり干上がり田植えがほとんど進んでいない (5/7 河北新報)
- ・ 「水不足の田 3,610ha 県、連絡会議を設置」 鶴田川下流の鹿島台町品井沼地区約700haで水不足により田植えができないでいる (5/9 朝日新聞)

③ 干害対策事業等の実施

・ 農業用水確保応急対策事業: 用水不足面積3,610ha、事業費75百万円(1/3県補助)

【降水量(仙台)】

(単位mm/日)



◆ 平成6年(1994年) 春の渇水

① 渇水の概況

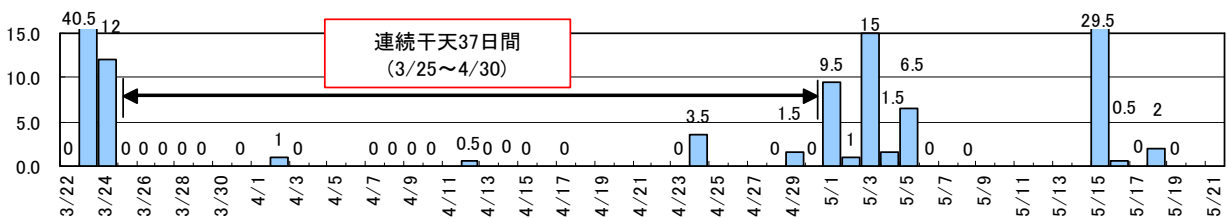
・ 4月の降雨が非常に少なく、代掻き用水が不足した。そのため、県内の代かき作業が遅れ、用水の応急対策を実施した地域もあった。5月上旬の降雨である程度の改善したが、夏の異常渇水も発生した。

② 新聞報道

- ・ 仙台広瀬川「川干上がり魚死ぬ」 小雨、田植えで流量減少 広瀬橋付近で約二百匹の魚 (5/25 河北新報)
- ・ 大倉ダムの節水が原因「夏に向け水量確保」「水位例年の半分」「水足りぬ」 農家から苦情 (5/26 河北新報)

【降水量(仙台)】

(単位mm/日)



◆ 平成13年(2001年) 春の渇水

① 渇水の概況

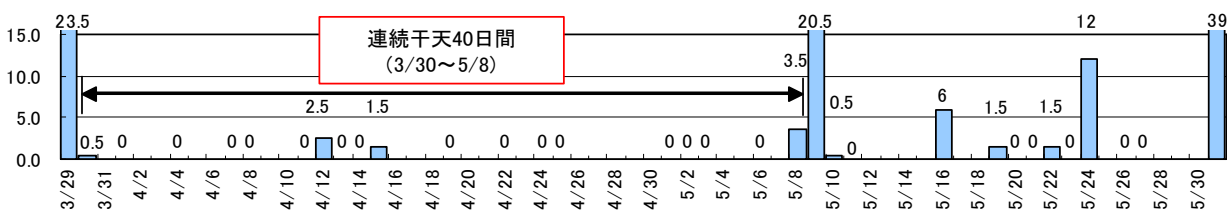
・ 仙台では4月の月間降雨量が観測史上最低4mmと、県内全域で記録的な少雨が続き渇水となった。天水やため池のみを利用している地域では代かきが大幅に遅れて出来ない状況であった。5月の降雨で解消した。

② 新聞報道

- ・ 東・西日本 引き続き小雨傾向 水管理徹底を呼びかけ 気象庁小雨に関する気象情報 (4/24 日本農業新聞)
- ・ 「丸森2mm、仙台4mm先月の県内、記録的少雨」 県内全域で記録的な少雨が続き (5/3 読売新聞)
- ・ 「広瀬川の流量激減」 県内ダムは例年並み 農業用水の取水が始まり下流域の流況が悪化 (5/3 河北新報)

【降水量(仙台)】

(単位mm/日)



注2. 連続旱天とは農業用水で有効雨量に算入しない日雨量5mm未満の連続日数(灌漑期)

仙台では 1/2年確率:20日間、1/10年確率:31日間、1/20年確率:35日間、1/50年確率:40日間